

ジャン・ホワン (張洄)

Zhang Huan

1965- 中国

アーティスト。1990年代、ゲリラ的パフォーマンスを展開して注目を集める。トイレの中で全身に油を塗って身動きせず1時間座り続ける「12m²」をはじめ、自らを一個の物体に還元したかのような作品は、当時の中国社会で個人がおかれた状況を鋭く問うものだった。近年、ニューヨークで活躍し、中国現代美術第一世代で最も重要なアーティストとされている。

1965 - China

Artist. He gained attention in the 1990s as he developed guerrilla performances. His works depicting himself being resolved to a solid object such as the "12m square" which he applied oil all over his body inside a restroom and sat for an hour motionlessly, sharply questioned the situation individuals were placed at in China at that time.

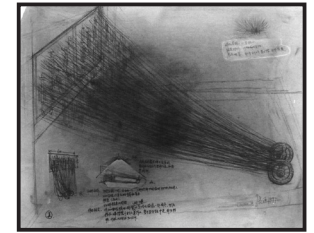
ジャン・ホワン (張洄)

「3006m³: 65kg」

のためのドローイング

1997年

紙に水彩絵具、インク、鉛筆



Zhang Huan

Drawing for "3006m³:65kg"

1997

Watercolor, ink, pencil on paper

<中国現代美術展97 1997年4月4日～7月13日より> 1997年4月6日の朝6時、パフォーマンス「3006m³: 65kg」が行われた。このタイトルにある3600m³はワタリウム美術館の体積、65kgは作家ジャン・ホワンの体重と対比したもの。風鈴を付けた100本の輸血用ゴムチューブが美術館と20メートル道路を挟んだ向かいの二階建ての家（キース・ヘリングが1983年に壁画を制作した建物）をつないでいる。輸血用チューブは現代社会の象徴や隠喩であり、風鈴は風を聴覚・視覚化するための素材として用いられていた。ジャン・ホワンは裸体でワタリウム前の信号をわ

たり、向かいの建物屋上に昇り、繋がれた100本のゴムチューブを揺らしながら3600m³のワタリウム美術館と対峙していく。

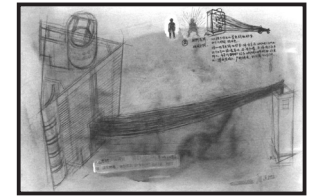
ジャン・ホワン (張洄)

「3006m³:65kg」

のためのドローイング

1997年

紙に水彩絵具、インク、鉛筆



Zhang Huan

Drawing for "3006m³:65kg"

1997

Watercolor, ink, pencil on paper

ジャン・ホワン (張洄)

映像「3600m³:65kg」

パフォーマンス

1997年

15分



Zhang Huan

Video "3600m³ 65kg performance"

1997

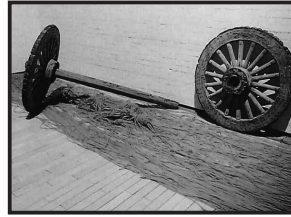
15min

ジャン・ホワン(張洄)

「3006m³:65kg」(部分)

1997年

車輪、チューブ



Zhang Huan

[3006m³: 65kg](partial)

1997

wheel, tuben

＜中国現代美術展97 1997年4月4日～7月13日
より＞ 1997年4月6日パフォーマンス「3006
m³:65kg」終了後、パフォーマンスと同じ素材
を使って、インスタレーションを制作。天井から
吊されたゴムチューブに2個の風鈴を仕掛け、人
がチューブを分けて入ると微かに風鈴の音色が
会場に流れる。大きな車輪はパフォーマンス後
半で外れた時のように不安定に傾き、近くに人の
形にゴムを束ねうつむかせ、作品は行為の余韻
を表すものとなった。この車輪は、中国の農村
で馬に引かせたもの。本展では、このインスタ
レーションの一部を再現。